

NAGASAKI



看護連盟だより

2016
新春

あけましておめでとうございます



**たかがい恵美子さんを
国政に送ろう!!**

選挙に行くぞ!

選挙に行くぞ!

選挙に行くぞ!

選挙に行くぞ!

選挙に行くぞ!

選挙に行くぞ!



**第24回参議院選挙に向けて
看護の力を結集しよう!!**

目

次

会長あいさつ……………	2
名誉会長あいさつ……………	3
日本看護連盟会長あいさつ……………	4
あべ俊子衆議院議員あいさつ……………	4
たかがい恵美子参議院議員あいさつ……………	5
石田昌宏参議院議員あいさつ……………	5
たかがい恵美子参議院議員看護政策集会……………	6

加藤寛治衆議院議員国政報告……………	7
平成27年度病棟リーダー・施設連絡員研修会……………	8
青年部活動報告……………	9
平成27年度長崎県看護連盟フォローアップ研修会……………	10
平成27年度長崎県看護連盟新入会者研修会……………	10
施設紹介……………	11
南島原市表敬訪問、研修案内、編集後記……………	12



ごあいさつ



長崎県看護連盟 会長 金 澤 きみ代

新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

また、旧年中は、看護連盟活動に多大なるご尽力をいただきましたことに、心から感謝を申し上げます。

昨年4月の統一選挙に於いては、皆様のご協力とご支援のおかげで県議選では自民党が圧倒的に勝利することが出来ました。本当にありがとうございました。

さて、連盟における今年最大の事業は、7月に施行される予定の第24回参議院議員選挙に「たかがい恵美子」参議院議員を国政に送ることです。

たかがい参議院議員の国政における活躍は皆様ご存じだとは思いますが、①平成26年2月の豪雪のため国家試験を受験できなかった方々のために史上初めての看護師国家試験の追加実施、②東日本大震災の加速化のための継続活動、③女性の健康の包括的支援、④看護職の特定行為に係る研修制度と保助看法の一部改正、などがあります。そして、第2次安倍改造内閣、3次内閣においては厚生労働大臣政務官、今回は自民党女性局局長という大役にご就任されています。

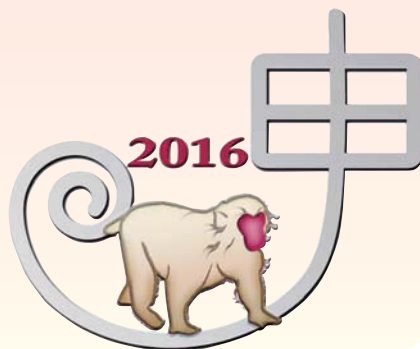
私たち看護職の役割は、次世代を守れる社会保障制度をつくること。そのためには現場の会員一人ひとりが声を上げなければなりません。そしてその現場の声を「たかがい恵美子」は、しっかりと国政に押し上げ、反映させていきます、と訴えています。引き続き国政の場で、看護職の代表として現場の声を政策にいただき、看護職が元気に、いきいき働ける職場環境を創っていただきましょう！

2016年は丙申（ひのえさる）です。丙申は頑張ってきた人の努力が形になっていく年と書いてありました。

皆様と共に一昨年から今年の7月に向けての研修を積み重ねてまいりました。これまでの努力は決して無駄ではなく、きっと大輪の花となって結果が出るものと信じています。

私達県役員も、各支部と一丸となって7月に向け活動してまいりました。最後まで気を緩めることなく全力投球したいと考えています。

会員の皆様には連盟活動に更なるお力添えをお願いして、新年のあいさつといたします。本年もよろしくお願いします。





ごあいさつ



長崎県看護協会 長崎県看護連盟 名誉会長 山口 ミユキ

謹んで 初春のおよろこびを申し上げます。

お揃いで良い新年をおむかえのことと拝察申し上げます。

さて、去年は、激動社会の中で発生したテロ事件に、すべての人々が「安全と安心」の暮らしに、強く不安を覚える今日、健康で、全人類が安心して生きることができる社会を求めることは申すまでもなく、それぞれの立場でその役割を果たす努力こそ、必須要件であるとする昨今、看護とは何か、看護という職業が専門職業として、より一層良質の看護が提供できるために、「自分達のことは自分達」でまもり、かつ、解決できる力がいま問われるときに至っております。

◎解決策としての組織力の強化。協会、連盟会員が表裏一体となった活動の展開。

- 結集の年に、…平成27年度、公益社団法人日本看護協会通常総会で決議された、重要政策・重点事業が、引き続き平成28年度に取り組まれる。その事業は、
- 地域包括ケアシステムの構築と推進
- 看護職の労働環境の整備の推進
- 看護職の役割拡大の推進
- 少子超高齢社会に対応する人材育成

取り組む上記の事業はすべての人々が必要とするもの。日本看護協会会長が、日本看護連盟通常総会において、60万票を組織票とする、これまでにない力強い言葉に、参加者一同は実に大喜びをした。結果、誠に残念に至ったことは一体何であったのか、言葉と実践活動の困難さが浮上したものであり、連盟会員でない協会会員も「看護は一つ」の心で、一体となって取り組むことこそ達成の礎であることを痛感した次第であります。

◎大輪の花咲かせる日に向けて（高階恵美子参議院議員）

これまでの連盟活動で苦難とした点、不足した面は、協会会員であって連盟会員でない仲間が、同志として、表裏一体になったとき組織強化となり、良質の看護の提供によって「安全、安心」な暮らしができる。更に健全な日本の国作りに貢献できることを信じ、そのためにこれまで培ったすべてを惜しみなく高階恵美子参議院議員を支え、看護の声が国会に反映できるために、看護協会、看護連盟会員が大同団結して、目的達成ができるよう頑張らしましょう。

仲間同志のご健康と益々のご活躍、併せてご発展を心からご祈念して、年頭のごあいさつを申し上げます。

平成28年元旦

——寒さの中に水仙の花咲く日——

新年のごあいさつ



日本看護連盟 会長 草間 朋子

新春のお慶び申し上げます。

年頭にあたり、看護連盟の組織力強化に向けて全力投球していく所存でおります。会員一人ひとりのみなさまの元気とやる気が連盟の活力の源です。社会を動かすことができる強くて活動的な「看護連盟」を目ざしてまいりますので、改めて、会員のみなさまの、なお一層のご協力よろしくお願いいたします。

超高齢化を迎えたこれからの日本の「予防し・治し・支える」保健医療を担っていくのは看護職です。私たち看護職の活動を通して、明るく、住みやすい超高齢社会をつくっていかうではありませんか。

看護が、活力ある活動が続いていくためには、看護職の教育環境、就労環境を一つずつ確実に改善していくことが連盟の重要課題であることは言うまでもありませんが、18歳人口が減少し、労働人口が減少する中で、やる気のある優秀な若い人材を看護の領域に如何に引き付けるかということも極めて重要な課題です。「親の背中を見て子は育つ」といわれます。私たち先輩が生き生きと働いている姿を、後輩となる中高生に伝えていかうではありませんか。

折しも、18歳以上が選挙権を持ち、政治に係る時代になりました。看護が「夢」と「プライド」を持てる専門職であることを、次世代の若者に自信を持って伝えていくためには、まだまだ改善しなければならないことがたくさんあります。看護に関する山積する課題は、自分たちの力、自分たちの組織（連盟）の力で制度化、法制化まで持っていかなければ課題解決、改革に結びつかないことを、大先輩たちのさまざまな活動等を通してみなさまも認識しておられると思います。

7月には参議院選があります。「ベッドサイドから政治を変える」のスローガンの下、「看護が、たかがいいが、やりがい、いきがいのある社会をつくる」を旗印に、会員のみなさまの力を結集し、一丸となって、「たかがいい恵美子」先生を2期目の参議院議員として国会に送り出し、明るく元気な長高齢社会の構築に向けた看護政策を実現するために、思う存分、羽ばたいていただきますよう。



衆議院議員 あべ 俊子

あけましておめでとうございます。長崎県看護連盟の皆さまにおかれましては、清々しい新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、日頃より大変温かく力強いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

皆さまのおかげをもちまして、去年は2期にわたり約1年つとめました農林水産副大臣を退任、衆議院議員として4期11年目を迎えることができました。これまでの積み重ねにより、国政での発言力は増し

責任も重くなりました。重責を負わせていただけることを皆さまに感謝し、今後も初心忘れることなく精一杯努力をしております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

激動する国際情勢、厳しい日本経済、医療・看護をとりまく環境ではございますが、日本の将来を見据え、すべての人が安全かつ安心して生活できる社会保障制度を確立するため、引き続き全力で頑張っております。

そしていよいよ本年の夏には、高階恵美子先生が2期目を迎えるための参議院選挙が行われます。今後とも心強い看護の同志として共に努力してまいりたいと思っております。看護の4つの議席を絶やすことのないよう、看護界一丸となってこの選挙戦を闘ってまいりましょう。皆さまのご支援・ご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが今年一年が皆さまにとって輝かしい年になりますようご祈念申し上げます。



参議院議員

たかがい恵美子

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。厚生労働大臣政務官在任中は雇用・労働・年金・子育て分野を主務とし、塩崎大臣の下、過重労働の撲滅、がん対策及び認知症対策の見直し、子育て支援の強化などに取り組みました。

また、厚生労働科学研究費補助金に「女性の健康の包括的支援総合研究事業」が創設され、厚生労働省内に「女性の健康推進室」が新設されました。2015年は、我が国の女性の健康科学が学術・行政面で明確に位置づけられた輝かしい年となりました。さらに政務官検討グループにおいては、「幸齢社会への挑戦 ‘ハッピープラチナ運動’」を提唱し、必要な施策を来年度予算案に計上しています。

2016年は自民党女性局長として、女性の健康推進、児童虐待防止、防災・復興推進、女性活躍支援、地域が活きる観光振興、国際保健協力強化、女性と児童の権利擁護の7つの政策課題を掲げ、取り組む所存です。

看護系議員であることを誇りに、みなさまと心をひとつに活動して参りますので、引き続き、よろしくお願いいたします。



参議院議員

石田昌宏

長崎県看護連盟の皆様 明けましておめでとうございます。

平成二十八年が皆様にとって、輝かしい素晴らしい年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

旧年中は、暖かいご支援を賜りましたことを衷心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、実践的な理解力、高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる「特定行為研修制度」の運用がよいよ始まりました。責任の重さとともに、看護に対する国民の期待をひしひしと感じる歴史的な前進です。さらに、看護職とナースセンターが離職後も“つながり”を持ち継続的なキャリア支援や迅速な復職支援を可能にする、「看護師免許等の届出制度」もスタートしました。これまで離職すると、所在や現状を把握することが困難でしたが、制度の開始により潜在看護職の防止も期待されます。

また、国会審議の合間をぬって現場に足を運び、地域が抱える事情、医療機関の実情、医療・看護の現場を訪ね、現場の声に耳を傾ける努力をしまいいりました。国民の皆様が「日本に生まれて良かった」と実感できるように、健やかに心豊かに健康で安心した暮らしを実現することが、政治家の責務であると思っています。

今年も、看護に従事する皆様が誇りと自信を持って働くことができる職場環境など様々な改善に全力で取り組む所存であります。

看護職の代表として活躍しているたかがい恵美子議員とともに、看護連盟の政策を実現すべく、看護連盟の皆様と全力で頑張ってまいります。

～参議院議員・たかがい恵美子先生と共に～

長崎

看護政策集会

日時：平成27年10月18日（日）15：30～17：00
場所：長崎県看護協会 長崎会館 参加者177名

当日たかがい先生は午前中下五島を訪問され、会員や五島市長、市議会議員の先生方のご臨席のもと研修会が開催されました。午後からは、長崎市での政策集会に出席され、集会中は顔が見えるようにと終始起立で臨まれました。

青年部の励ます言葉やがんばろうコールで、会場全体が来年の参議院選挙での上位当選を誓いました。



五島会場にて



長崎会場にて



青年部と

佐世保 施設訪問

日時：平成27年12月4日（金）



10：45
佐世保市立総合病院 22名



12：20
佐世保共済病院 13名



13：50
佐世保中央病院 64名



14：30
耀光リハビリテーション病院 18名



15：05
佐世保市立看護専門学校 46名



16：00
佐世保記念病院 21名



佐世保市長と

上記の7施設を回られ、多くの会員や学生と交流を持たれました。

第5回 国政報告

農林水産大臣政務官

衆議院議員 加藤 寛 治



謹んで新年のお祝いを申し上げます。

長崎県看護連盟の皆様が、長崎県の地域医療及び看護施策の充実と発展に多大な貢献をされてきたことに対し、深く敬意を表します。

我が国は、世界最高レベルの健康寿命を達成するなど国際的に高い保健医療水準を実現しました。一方、今後急速に少子高齢化が進み、医療や介護に対する国民のニーズが増加かつ多様化する中で、質が高く効率的な医療提供体制と地域包括ケアシステムの構築を進める必要があります。

こうした中で、人々が地域で安心して暮らしていくためには、専門的な知識と経験を持ち、人々に寄り添う看護職の方々の役割が今後ますます重要になるものと考えています。

昨年6月に成立した医療介護総合確保推進法に基づき、現在、地域における医療・介護サービスの充実を図るための各種施策が実施されていますが、同法には看護職の方々に直接関わる施策も多く含まれています。

まず、在宅医療等の推進を図る観点から、医師又は歯科医師の判断を待たずに手順書により一定の診療の補助を行う看護師を養成し確保していく、特定行為に係る看護師の研修制度が創設されました。同制度は本年10月1日に施行され、研修を行う指定研修機関が14箇所指定されております。引き続き、関係者への周知及び必要な支援を通じて、同制度を着実に推進してまいります。

また、看護職の離職防止と定着促進を図るため、医療機関がPDCAサイクルを活用して計画的かつ自主的に医療従事者の勤務環境改善に取り組む仕組み（医療勤務環境改善マネジメントシステム）が創設され、昨年10月1日に施行されました。この仕組みや、本年8月に設置された長崎県医療勤務環境改善支援センターを活用して、各医療機関において看護職の勤務環境の改善に向けた取組が一層促進されることを期待しています。

さらに、同じく10月1日には、看護師等免許保持者が離職等した際に連絡先等の情報を都道府県ナースセンターへ届け出る制度が施行されました。長崎県看護協会では、長崎県からの指定をうけ、ナースセンター事業を実施されていますが、ナースセンターでは、届出情報を活用して離職等された看護師等の方とつながり、個々のライフサイクルやニーズに応じて、復職に向けた情報提供や相談、研修等の充実が図られることを期待しております。

以上のような看護職の方々に関わる制度の着実な実施や、看護施策のさらなる推進のため、貴会がその役割をより一層発揮されることを期待します。

末筆ながら、長崎県看護連盟のますますのご発展を祈念して、年頭のご挨拶といたします。

平成27年度 病棟リーダー・施設連絡員研修会

ねらい 各々の施設内での病棟リーダー・施設連絡員としての役割を理解し、行動できる。

テーマ 「リーダーの熱意・行動が結果を定める」

例年、県下の各施設のリーダー研修会は一同に介して実施してきましたが、次期参議院選挙に向け、結果を左右するのはリーダーの存在が大きいとの判断で本年は、各地区別の研修会を実施しました。

県北

日時：平成27年9月24日（木）18時20分～20時10分

場所：佐世保市中央公民館 参加者：75名

1. 施設におけるリーダーの取り組み紹介
2. 「GHQ 占領下からニッパチ闘争まで」



佐世保中央病院
横山紀美子



講師：長崎県看護連盟青年部
市田 雅俊 金崎 大輔

3. グループワーク テーマ：「支部目標達成に向けわたし達に出来ること」

県南・県央

日時：平成27年11月21日（土）13時30分～16時

場所：ながさき看護センター 4階 大会議室 参加者：163名 青年部11名

1. 施設におけるリーダーの取り組み紹介

県南・県央からそれぞれ2施設からの紹介がありました。



長崎原爆病院
尾崎 貴章



長崎記念病院
山口みどり



諫早総合病院
中村 碧



愛野記念病院
秋山梨恵子

2. 「GHQ 占領下からニッパチ闘争まで」 長崎県看護連盟青年部
3. グループワーク テーマ：「支部目標達成に向けわたし達に出来ること」

●今回の研修会では、それぞれの地区を代表して施設内リーダーの活動の様子を紹介してもらいました。紹介されたほとんどの施設では定期的にリーダー会が実施され、リーダー間の情報の共有がなされ、どのように施設内の会員に浸透させればよいかなど検討されている様子でした。これらの発表を聞くことでリーダーの役割や活動の参考になったと思いました。

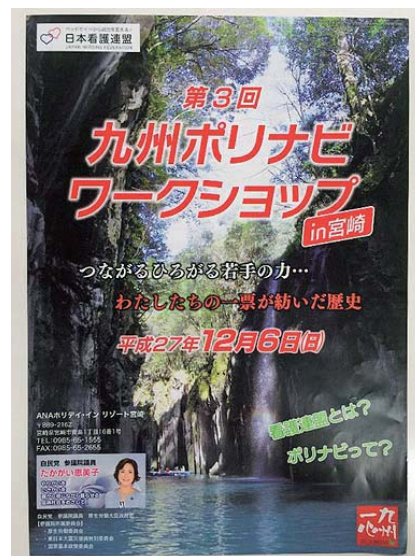
●「GHQ 占領下からニッパチ闘争まで」の発表は、青年部が今年の宮崎でのポリナビワークショップで発表したものを紹介してもらいました。戦後の看護の変遷がわかりやすく説明され歴代の先輩方の功績を感じることができました。

青年部活動報告

平成27年12月6日(日)

九州ポリナビワークショップ in 宮崎

ポリナビとは『Politc Navigators' Network』の略です。「政治・政策」の学びを通して、自分達に出来ることを模索し、日本の保健医療福祉を今より、素敵なものにすることを旨とする若手看護連盟会員を中心とした集まりです。私達は「働く環境」「日本の医療」「患者さんの笑顔」のために活動します。



藤澤 副部長講演



藤澤 副部長

今回の内容は歴代の議員と現職議員を知り、どのような功績を残し現在の看護に活かされているかを知ることができる内容でした。私は前参議院議員の清水嘉与子先生についてスライド講演をしました。会場の反応は良く、皆さんに知って欲しい内容は伝えることができたのではないかと思います。さらに、他の議員の内容を聞くことで私自身、看護に政治が必要な事を再確認できました。今後はこの学びを活かし、同世代の看護職者にわかりやすく伝えることができるように努力していきたいです。

今回のワークショップでは、これまで選挙で当選された先輩方の国政での様々な取り組みが、看護師の処遇改善へ繋がっていったことを改めて学ぶことができました。そして、現職のたかがい恵美子先生の話聞くことができ、「やっぱり看護師の為に色々な事をやってくれている。必ず、たかがい先生を当選させないといけないと!!」と改めて思いました。



市田 副部長



尾崎 部長

長崎県看護連盟の青年部部長をしています。尾崎貴章です。今回、部長として参加することで、各県代表の方との活動報告・意見交換を深く行うことができました。今回の学びを元に長崎で実行できることを考え、若い看護師へ、社会における看護職の大切さや看護と政治の結びつきについて伝えていきます。そして、先代達の努力を現在から未来へと繋げ、看護界の発展と可能性に協力できればと思います。



長崎県看護連盟フォローアップ研修会

日時：平成27年10月1日（木）14：00～16：00

場所：ながさき看護センター 参加人数：118名

基調講演演題

「看護の声を県政に、一私の一私」 ～働く女性の環境を考える～

講師 長崎県議会議員 ごうまなみ 先生



基調講演の中で、ごう先生は自身のご家族のことに触れ、医療や福祉の重要性とその施設で働く勤務者の処遇改善を話されました。このように私たちの業務内容を理解していただける先生の存在をたのもしく感じました。

グループワーク

テーマ：看護の諸問題解決のために わたしたちにできること、やるべきこと

グループワークでは来年の参議院選挙で、たかがい恵美子先生を上位で当選させるには、会員それぞれが政治に関心をもち選挙にいく雰囲気作りが大切と共通認識ができました。



平成27年度 長崎県看護連盟新入会者研修会

日時：平成27年12月2日（水）13：30～16：00

場所：長崎県看護協会 長崎会館 参加者：101名

テーマ 「看護連盟と 看護協会の違い」

ねらい 新人看護者が働きやすい職場環境を整えるために、看護の代表者を国会に送る必要性を理解する。

1. 研修



植松末広
県南地区第7支部支部長

「働きやすい職場環境をつくるために何が必要か」



尾崎貴章
青年部部長

青年部紹介

2. グループワーク 金澤会長、植松支部長、尾崎青年部部長の話聴き、若い会員の間には連盟の理解がかなりできた様子で活発な意見交換が行われました。

意見 として

- ・選挙にいく。
- ・連盟だより、アンフィニを読み知識を得る。
- ・連盟活動に関心をもつ。
- ・連盟の研修会へ参加する。 など 多くの意見が発表された。



みてみてmy病院

第13回

医療法人 健正会 大久保病院



当院は、長崎市の東、イチゴやペーロンで有名な牧島が近くにある、山と海に囲まれた風光明媚な場所に位置しています。病床数は174床一般病床が32床（うち地域包括ケア病床20床）医療療養病床が3病棟（142床）あり、うち1病棟46床が在宅復帰機能強化加算を算定しているケアミックス病院です。患者様を在宅への思いから、他職種一丸となりカンファレンスを実施し、少しでもADLを向上させ、在宅復帰を目指しています。

昭和38年の創立以来、50年以上地域に根差した病院として「そこに暮らす人々に役立つように、また、笑顔をもたらすことを喜びとしていきる。」そんな病院として存在するよう努力しています。患者様のQOLを追求し、おひとりおひとりに気持ちを注ぎ、「口から食事ができる。薬に頼らず排泄ができる」など療養病棟ならではの看護を考え提供しています。

平成26年度からワークライフバランスに取り組みました。看護部から始めた取り組みでしたが、今では病院全体での取り組みとなり、各部署のメンバーが定期的集まり、働きやすい職場をめざし、知恵を出し合っています。その甲斐あって、職員に対する支援策がいろいろ打ち出されました。その一つとして、入職直後からの有給休暇使用可能な有休前借制度や1時間単位で取得できる有休制度があります。小さな子供を抱えていても、入職直後の子供が不安定な時期に欠勤なしで休める、安心できる子育て支援です。また、メンバーは、地域のイベントにも参加し、地域貢献にも力を発揮しています。

看護部方針は「信頼と自律」です。今年度からeラーニングを導入しています。看護や介護の質向上を図るため、みんなで学習を始めました。院内研修や自己研鑽に大いに役立っており、それぞれの自律を目指しています。一人一人の思いを形に変えていけるよう、みんなで一緒に考え、頑張っています。

文責 柳澤真由美



ワークライフバランス会議（笑びーズ）



玄関ロビー

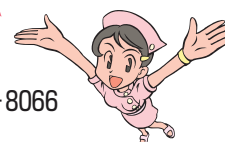


my 病院・施設を紹介してみませんか？

「これが自慢！うちならでは！頑張ってます!!」なんでもOKですよ。

応募方法はこちら → hyk.renmei@kangorenmei-nagasaki.jp または Fax (0957) 49-8066

たくさんの応募
お待ちしております。



南島原市を表敬訪問

平成27年11月30日、山口ミユキ名誉会長、金澤きみ代連盟会長他、県役員7名で松本政博南島原市長を表敬訪問しました。

そして同市において女性看護師の管理職登用について、意見交換と要請を行いました。



研修会案内

1. 新入会者研修会

日 時：平成28年1月21日（木）13：30～16：00

場 所：ながさき看護センター

2. 看護協会・看護連盟合同研修会

日 時：平成28年2月9日（火）17：00～18：45

場 所：ながさき看護センター 4階大会議室

講 師：日本看護協会会長 坂本 すが

演 題：「看護の未来に向けて課題と展望」

3. リーダー・施設連絡員研修会

日 時：平成28年3月12日（土）13：30～16：00

場 所：ながさき看護センター

4. 長崎県ポリナビワークショップ

日 時：平成28年3月19日（土）14：00～16：00

場 所：ながさき看護センター

あけましておめでとうございます。

今年は、第24回参議院議員選挙の年です。連盟だよりでは、毎回たがかい恵美子先生の活躍をお伝えしてきましたが、今回は本県を2回にわたって訪問された様子を掲載しています。多くの会員の皆様が本紙を通してたがかい恵美子先生を知っていただければ幸いです。